

きたかん.net 活動レポート

<p>[タイトル]</p> <p>第5回きたかん大学（スコラ）</p>	<p>[日時]</p> <p>平成24年1月27日（金）18:30～20:30</p> <p>[場所]</p> <p>北海道大学学術交流会館</p>
<p>[プログラム]</p> <p>○テーマ：動く！コミュニティづくり「おだあし勉強会」の活動から</p> <p>○話題提供：小田原足柄異業種勉強会（おだあし勉強会）コアメンバー 中村 壮一郎 さん</p>	
<p>[参加人数] 12名</p>	
<p>[概要]</p> <ol style="list-style-type: none">1) おだあし勉強会の概要・活動コンセプト2) おだあし勉強会の運営上の特徴とプロジェクト3) 地域プラットフォーム・中間システムとしてのおだあし勉強会と今後の課題	
<p>[内容]</p> <ol style="list-style-type: none">1) おだあし勉強会の概要・活動コンセプト 設 立：2008年12月 会 員 数：（設立時）15名、（現在）正会員84名・準会員（情報提供のみ）20名 活動理念：小田原・足柄地域を愛する様々な職業の人々が集い、個々の商売と小田原足柄地域が発展するための会（地域の発展と自分の発展、両方を目指している） 活動コンセプト：ゆるく、たのしく（誰でも参加できる開放性、参加を強く求めない寛容性、無理をしない→あくまで本業中心を自問することで結果として活動が維持できる）2) おだあし勉強会の運営上の特徴とプロジェクト ①活動理念に「個々の事業の発展」が含まれる。②特定メンバーに負担が集中しないよう代表を置かず、5名のコアメンバーにより運営。③フラットな組織。ここから実験的なプロジェクトが生まれる。 （実験だから失敗してもいい！）3) 地域プラットフォーム・中間システムとしてのおだあし勉強会と今後の課題 地域の内外に開かれた「場」を利用した地域課題解決の「場」であると同時に、多様なメンバーのコミュニケーションや交流を生み出す「場」になっている。コアメンバーへの負荷など、今後の課題も。 しかし、中村さん曰く「これまで苦労は感じず楽しかった！」	
<p>[写真]</p> 	